

# 木造建築物普及講習会

熊本県内の森林資源は、スギ・ヒノキ等の人工林を中心に充実してきました。これらの森林資源を木材として利用し、新たに苗木を植栽することで、森林資源の循環利用が可能となり、水資源の涵養や土砂災害の防止等につながります。

一方、非住宅分野における建築物の木造率は低い状況にあり、これらの分野での木材利用を推進することが特に重要です。

このため本協会では、熊本県から委託を受け、中大規模木造建築物の正しい知見を学んでいただくことを目的とした「くまもと県産木材による木造建築物普及の手引き」を平成28年3月に作成いたしました。

そして今回、「平成28年熊本地震」による中大規模木造建築物の被害状況や、木造建築物の可能性を広げる新たな木質部材（CLT や BP 材）に関する情報等を追加した改訂版を平成30年1月に新たに作成・発行いたしました。

発行に伴い、木造建築物の建設を推進していくため、改訂された内容等の講習会を下記により開催することといたしました。

公共建築物や民間の建築物等の計画・設計・建設等に携わっておられる皆様方の御出席をお願いいたします。

開催日時：平成30年3月7日（水）13：30～16：30

開催場所：グランメッセ熊本 2階大会議室（上益城郡益城町福富1010）

主催者：熊本県農林水産部森林局 林業振興課

一般社団法人 熊本県建築士事務所協会

対象者：行政職員、建築士、建築業関係者、森林・木材関係業界関係者

定員：140名（定員になり次第、受付終了いたします）

※各課及び1事務所につき3名までのお申し込みとさせていただきます。

参加費：無料（手引きを配布いたします。）

申込方法：裏面申込書に必要事項を記入の上、平成30年2月28日（水）までに本協会宛て FAXにてお申し込みください。

会次第

- 1 挨拶 (13：30～13：45)  
熊本県農林水産部森林局 林業振興課 課長 古家 宏俊  
一般社団法人 熊本県建築士事務所協会 会長 福島 正継
- 2 公共建築物の木造化と熊本地震による被害状況について(13：45～14：30)  
熊本県林業研究指導所 林産加工部 部長 荒木 博章
- 3 新たな木質部材と木造建築物のコストについて (14：40～15：45)  
株式会社 ウッディファーム 代表取締役 坂田 雅孝  
木造設計アドバイザー
- 4 くまもと県産製材品について (15：45～16：00)  
熊本県木材事業協同組合連合会 業務課長 宮崎 亮
- 5 質疑・応答 (16：00～16：30)

# 木造建築物普及講習会 参加申込書

会社名及び  
市町村名 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

フリガナ	
氏名	

フリガナ	
氏名	

フリガナ	
氏名	

当日「くまもと県産木材による木造建築物普及の手引き」については配布しますが、下記のリンクより事前に確認いただけます。

また、講習会に先立ち事前に聞きたい内容や質問等がございましたら、下記に記載ください。

[http://www.pref.kumamoto.jp/kiji\\_15198.html](http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_15198.html)

(事前質問)

申込先

(一社) 熊本県建築士事務所協会

熊本市中心区九品寺4丁目8-17 熊本県建設会館別館2階

電話番号 : 096-371-2433

FAX番号 : 096-371-2450

申込期間

平成30年2月9日(金)～平成30年2月28日(水)